



こむぎ通信 賛助会会報 第40号

編集・発行：麦っ子畑保育園賛助会 発行年月：2021年6月

〒252-0015 神奈川県座間市南栗原1-4-3 Tel 046-255-7087

HP: <http://www.mugikkobatake.org/> Fax 046-244-0023

賛助会お振込先：郵便口座 00230-3-512894 麦っ子畑保育園賛助会

一口1,000円以上何口でも可（振込用紙にコメントが書けます）

～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*

<私たちは奇跡の中で生きている>

しめん・4才

関東地方は梅雨入りしましたが、本格的な雨はまだ降っていません。この通信が発行される頃には、梅雨らしい雨降りの毎日になっているのでしょうか。

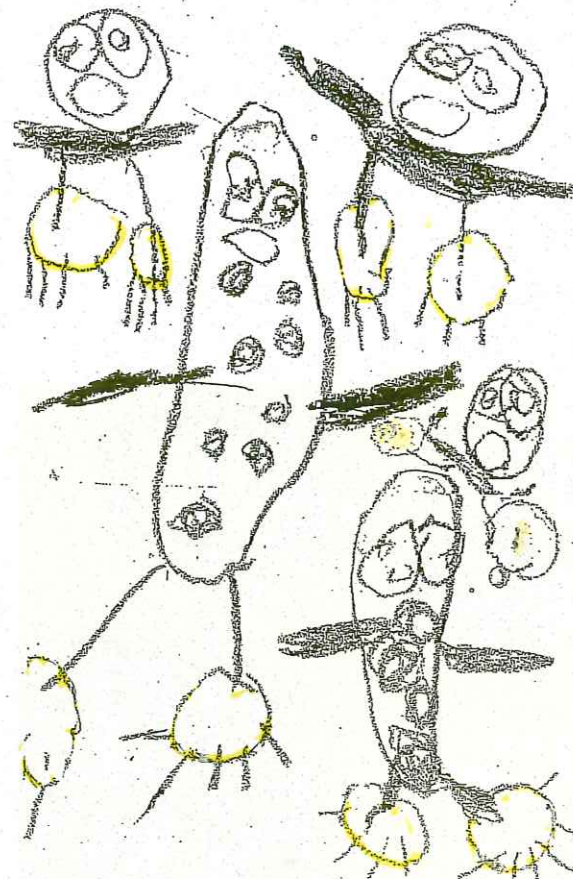
園庭を流れる小川は少しずつ姿を変えながら、すっかり麦っ子の日常の景色になっています。ビオトープのマコモやセリやクレソンなどが植えられた小さな池ができて、ヤゴやアメンボ、川エビが棲みつき、ホタルの幼虫も見つかっています。小川のそばに敷いたゴザに寝転んだ赤ちゃん達の相手をする小さい子やデカ達一。水車から流れる水に葉っぱを流して笑い声をあげる子、ビオトープの幼虫を一心に見つめる子、石を運んで小川のふちに並べたり、その石をまた別の場所に運んだり一。毎朝本当に幸せな風景が広がっている麦っ子です。

そんなある日、近くの交差点の上を通っている国道の橋桁のところに「ハヤブサがいる！！」と一報が入り、麦っ子中が大騒ぎになりました。通称お相撲公園にスコープを持って駆けつける虹・太陽を追いかけて雲、風やおチビちゃん達も到着して大興奮の中、子ども達の視線の先に……いました！！一羽のヒナが今にも飛び立ちそうに羽を広げています。親鳥が時々餌をあげに戻ったり、こちらにお尻を

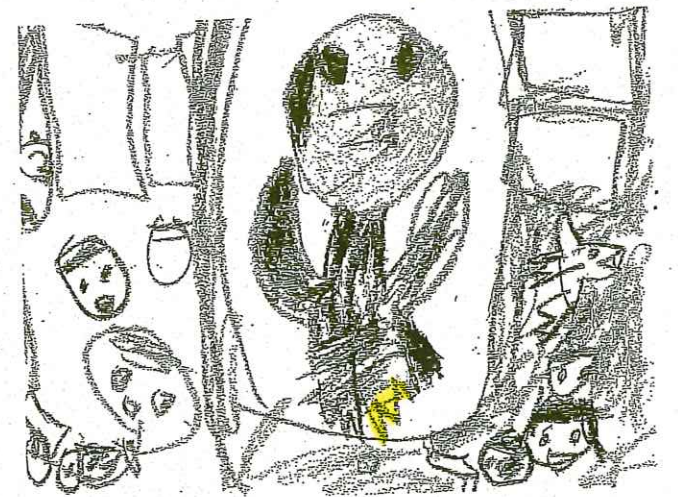


あやと・5才

向けてウンチをしたり、普段なら遭遇できないことが目の前で起きている一。スコープ越しにハヤブサと目が合った子の驚き！！こんなこと一生のうちに、そうそう何度も起きることではありません。同じ鳥を見つめてビックリしたり笑ったり、いろんな感情を共有して広がっていく場。あの時の幸せな感覚が身体中に渦巻いて、数日経った今でもあの場面が浮かび上がってきます。麦っ子に戻って描いた子ども達の絵は何とも素晴らしすぎて涙がこみ上げてきます。どの子ども達もそれが経験した感覚が真っ直ぐ絵にぶつかっています。あれから何度もお相撲公園に行ってはスコープを覗いているデカ達の様子は、まさに日常の奇跡の中に生きているんだね。学童の子達も見に行けてよかったです。



あいと・4才



ゆづう・5才



ゆあ 5才

この鳥がツミなのかチョウゲンボウなのか分かりませんが、何年か前に近くのゴミステーションでヒヨドリを足でつかんでバタバタ飛ぼうとしているツミに出会ったことがあります。まだ若かったと思われるツミには獲物が大き過ぎて、結局あきらめて置いていってしまったけれど…。みこべの家のデッキから見える木立の中を縄張りにはしているらしく、時々ピューッとデッキをかすめて飛んでくるあのツミが親になったのかもしれない、と想像してワクワクしています。巣立ちが終わったヒナ達ですが、まだ近くの家の物干し場や電柱のてっぺんにとまりに来たりしています。今日、デカ達は手に手にお手製の望遠鏡を持って「森に鳥を見に行くんだ！」と張り切ってお出かけしています。みんなの奇跡の日々はまだまだ続いていきそうです。みこべこと麦っ子畑保育園園長 大島貴美子

※どうやらチョウゲンボウらしい



みこりん画

ゆりんと中村優子です。家族会議で決まったニックネームにはさか恥づかしさを感じながらも、「ゆりんの」(←子どもたちが呼ぶと末尾にハートマークがついているかのよ)の声に嬉しさを覚える今日この頃です。

手を動かすことが好きで、今までは東京の認可保育園で給食を作る仕事をしました。いわゆる「大量調理」という分野での経験は有るのですが、麦っ子の台所に入ってみたら、私の常識を覆す事の数々! 詳しくは紙面の都合上、書ききれませんが、良い意味で「ロラダイムシフト」が起こりまくっています。感じるのは

麦っ子という大家族の生活の場で繰り広げられる日常は、何て豊かなんだろう、ということ。口下手ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

はじめまして!

新大の佐藤みのりです。

皆からは「みのりん」と呼んでもらっています。

卒園生の「のえ」虹ぐみ「ふえ」の母です。

短大で保育士資格は取ったのですが、今まで全く違う仕事をしていたので、麦っ子で働く事は周りに驚かれました。何より自分自身、麦っ子で大人になる自分は想像もしていませんでした。毎日が新鮮です。

健康に気をつけて頑張りますので、どうぞ

よろしくお願いいたします。

新

人

紹介

介

特技は片付け(捨てる系)です。



ゆりんと画

和と麦、子

行事や集まりがごまかしの今、
 少い子ども、麦、子火回保育園のことで
 共有できた... ということ、思い出や
 体験 エピソードをテーマに台紙を
 募集しました。

母) 麦、子の好きなところは?

と(めん) ざくろがあるところ。

母) なんぞざくろなの?

と(めん) ざくろで飛行機を作ります。

と(めん) 麦、子の好きなところは?

母) だれもいない川。

(流れが澄んでびっくらびっくらい
 きらいな光景でした。)



麦、子の好きなところ
 ざくろ、飛行機、鳥

「お魚」お魚がいるから!!



井戸水の川が好きな
 いろいろなきまものがいるし
 おもしろい



送迎の時に見られる

赤ちゃんから大人まで「ごちませ」に
 なって遊んでいる園児

「舞台上」いろいろたし物を
 をした思い出の地...

麦、子の好きなところ

麦、子の好きなところ
 みそ、つくったツロ、アツ、フル、イオ
 つくったツロ、アツ、フル、イオ
 つくったツロ、アツ、フル、イオ
 つくったツロ、アツ、フル、イオ
 つくったツロ、アツ、フル、イオ
 つくったツロ、アツ、フル、イオ

自主保育

長女ゆ、アが入園してはじめての2年自主保育委員を仰せつかった。2月と9月
 年2回、取組員の代わりに親が保育をおる。夏はプールに付き泳ぎ、冬は
 WSPでたき火をして火き草やみそ汁を作った。新人の僕はウロウロする
 だけで、ちと役にも立ってあげたけど、ベテランの親やバイトのオーバー
 それに麦、子OB学童の尽力が大過なく充実した保育であった。
 中世とりわけ学童の活躍には目をみはるものがあり、大変印象深い
 手紙を寝かす布団をときはき敷いてくれたカリん、やさしくお話をう
 手紙とあそびたくれたしゅうじ、持前のリ、ターシヤを祭装いでデカと当番
 をしてくれたたくまる。ゆ、アはたくまるに「お前だれだ? じかん?」と
 きかれ「ゆ、ア」と耳をすかして、でも嬉しそうに答えてた。け。
 手紙、デカ、学童がいっぱい、場に共有し、互いに相手思いやる気持ちが
 自然と育まれる麦、子の保育。その一端を垣間見ることができた自主保育
 は僕自身の見識を高める上でも貴重な経験であった。と同時に、カリ
 ラムや合理性ばかり求める現行の学校教育への疑問も高まった。あの父

行事がごまかしの
 台紙がごまかしの
 自主保育
 行事紹介
 こんばんは
 しつぱ!

麦、子の好きなところ

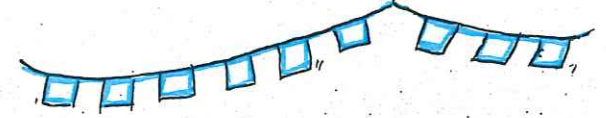
- のしん : お台所 (学童) おいしい、おいしい、おまから。
- ゆ、き(父) : カレー(バザーの) 油なしカレー、和風カレー、タイカレー、ああ、カレー。カレーたべたい。
- まる(母) : 夕方のWSP ちびちび感にホッとる。
- とら(学童) : ツリーハウス

定例行事ではないけれど
 40th 記念式典が印象に残っています。

何かのキリで参加したくて、麦、子Tシャツ
 を作ったリ、久し振りにピアノを一生懸命
 弾いたリ... 練習中おんぶしているはず
 静かになて眠ったゆづのこともよく覚えて
 いるし、知らない(外部の?)方にほめられ
 たりして、自分を肯定しても良いと思えたり、
 とにかく「転機」にもなった行事でした。
 式典に向かう色々な人のエネルギーに刺激
 を受けて、可能性に挑戦する気持ちも思い
 出せました。

個人を尊重し、個性を大切にしながら
 子どもも大人も責任をもって共に生きることの
 素晴らしさを、子どもたちを通じて、行事を通じて
 麦、子から改めて学ばせていただいています。
 いつもありがとうございます。 エリーセ

一歳前位に公開保育初参加
 一緒にお散歩に連れて行って
 もらいました。おやつに余った
 おかずを分けていただき
 初めておやつではお米を
 食べたんです。その時の表情が
 ちり本能が美味い!!と目を
 見開いておしゃべり頼張って
 いました。あーあの顔、写真に
 撮っておきたかたてあ。
 二りり、まてい! ムムム。 ゆづ母



運動力会

「トコボ」、「大根」、「昭和のお母さん」
 などの親子競技のために指定された
 親の格好に、おと気合の入った
 お手製の仮装をしにくるお父さん
 お母さんが、毎年度面白。
 うちの父ちゃんも全身タイツ(白)に顔も
 白塗りで大根にたまたりしたけど、
 おいしい人いっしょでそれだけじゃ駄目だよ
 出番はちよことなのこ。そこに個性
 發揮してる麦、子親バカ。すげえ。 ゆづ母

- 「バザー」
 親・OBが協力して刺子に愛り
 子ども達の客様 接客します
 魔物ルキ、おため食はたな
 子どもだけのお買物、4両カワイイ
 親同士も絵が楽しめます (準備も大変だけれど)
- 「自主保育」
 年2回 大人達合議時 麦、子大人体験が
 できます!! 子ども達を知り知ってもらえ
 楽しいが共有できます♪ (お台紙募集)

Free Space

のんきなからかひお

麦っ子は子ども達にとって
家みたいな場所だけど、親に
しても家みたいな場所だと思っ
てたが子供の面倒をみてくれて
汚れた物袋には子供の汚れ物か
入ってて、でも、それも一緒に洗
いで。人の子も自分の子も一緒。
親同士も名前前で呼び合ったり
代弁では仮装したり、出し物
考案したり、まるで部活みたいな
なったりする。それに、みんなは
大人達はいつも親身になってく
大きな家で子どもも親の私達と
一緒に育ててもらっているんだと思
う。あたたかくて、大きな麦っ子。ありがとう。

麦っ子との出会いは...

5年程前に左イスブクに流れきて
「認可保育園移行応援プロジェクト」の
クラウドファンディングでした。
そこに載っていた今の学園にとっても驚いた
のです。たっ、たっ... 昭和!?の建物!?
これ、今の写真なの!?と。
でもそこに書いてある想いと子ども達の
表情に突き動かされました。
当時、まだ子どもはいませんでした
調べてみたら、ほんとこんな近くにありました。
今、園庭で遊ぶ子ども達の光景を見るのが
毎日の楽しみでもあります。感謝!!

ゆな母

先日、動物当番で麦っ子に行った際、ビオトープ
にある草に虫の抜け殻があった。よく見ると、その
側にまた「羽化している最中のトンボ」が...!
写真を撮り調べてみると「クロスジギンヤンマ」の幼虫。
水辺との位置関係的に「ビオトープ」で育ったヤゴ
かな!?と感動。

後日、ゆなしにその事を報告したら目を輝かせ、写
真を見せたら大きな声で皆を呼んで、見せて回って
くれた。そこに子供も大人も興味深々に群がら
様子が微笑ましく印象的だった。

麦っ子では、日々、大小問わず様々な出来事につ
いて大人も子供もみんなが共有して、それぞれに
感じ、考える場があると思っている。

この日は、まさかかな喜びとみんなが分かち合う
光景に、心が満たされる朝だった。えい、まめ父

おれと言わずに心に秘めていたけれど、これ
機に言ってしまう。2017年の夏に認可保
園となり、とてもステキな新園舎で過ごす
ことになった子どもたち。お祝いもした
けれど、私はずっと園舎が「旧園舎」にな
るかとこもこも迷っていた...!! 本当言
うと今でも思っていて、旧学童(になあれたお)
に入って色々なことを思い出しては、「ホワイけど
(昔々キレ)、このまま返しておいてくれお
願いた」と思いつから胸をズキズキさせている。
この旧園舎がなくなったら、私達の思い出
も一緒になくなってしまうようで(なやなはけれど)
ちなみには私たちが10期生は、うさぎ小屋の前の
スペースに「見張り小屋」という卒園制作を残
していたが、そちらはすでに消えている。職員に
聞くと、だいたい皆「おろくおた」とか「場所
が」とうかが言われただけ真相は?これから
卒園する子どもたち、卒園制作は、残す
場所に気をつけて。(笑) 高見保とゆな母

麦っ子初夏の匂を思い出

・夕涼川 すっかり馬淵染み 夏笑う

・靴ぬれし 6月の川 青々と

・朝夕の 見上げる枇杷の 先の雲

麦っ子
細道



俳句コーナー
小麦色

一秋待たずに

雪兔

いちほに麦っ子でめりた

ことを聞いたよ、
お気に入りの絵本
「まわるおすしやさん」を
どの前でも読んで
ほいって。みんなのお気に入り
絵本、お気に入りな〜♪

麦っ子でめりた
子ども達の お店やさんにお客さん
して行きたい!! ミニバスも楽しい♪
(よくは家は家と物を並べ
「いら、いら、いら」言いつつ)
給食を一緒に食べたい!!
試食会でも... 試食を食べていた所から
うれいな。 (ゆな母)

草間かろ
「おはる」のうたを
父の畑
お母さん
ママの畑は毎年春を作っています。
6月にはまぐりの季節、またママ
がまぐり、畑の甲からまぐり、またママ
のはまぐり、畑の甲からまぐり、またママ
のはまぐり、畑の甲からまぐり、またママ

麦っ子でめりた
みらい

投稿ありがとうございます!

大変なことばかりの
変化の時ですが、自然と仲良く
夢と希望を持っていれば
大丈夫です♡

みこべ友人 高橋 崇子さま

賛助会員の皆さまからの

祝電ありがとうございました。
うれしかったです！（わか）
いつも気にかけてくれてありが
とうございます。また願出します
またバザー行ってみたい（父）
です。（ももか）

OB 花田ファミリー 静岡市

現在の食べ放題の
生活様式を改めて、免疫力を
つけないと、新型コロナウイルスは変異しながら
永久的に消えないと思います。

元職員の健康給食 藤瀬市
元気ごはんの健康給食 笹本宗壽さま

みこべ、いつもありがとう
ございます。こメキジにも
電子版のおき通信を送って
頂いて有難いです。妻と子のみんなに
会いたくなります（はち）
妻と子の皆様お元気？！感謝！
（はちの母）

元職員 ハチのお母さん
古橋ユキ子様

マンスリーでのご支援
ありがとうございます

サイズ感が
おかしいですか...

・大矢美紗子さま

・北海道の安心おいしい
焼き菓子屋さん
LAUKIKA (ラウキカ)
さま

・渡辺ひかりさま

カツラ コウコウセイ コウシロウ
ハナチ リンタロウ ナサミナガラ ホイクシ
ムギツコ ノテツタイニデモイッテ
アルベキホイクノスガタラ カンガエ
テミルベキトキカモト ハナレテ
オモウ チチ

OBのお父さん
ネギオヤジと
萩原昇二さま

メッセージ

子供達が麦っ子を巣立って
もう20年の月日が流れていますか！
こうして続いているご縁に感謝
です。気付けばとてもお忙しい
時期ですか、頑張り
下さいね。

OBのお母さん
上野恭子さま

みこべはじめ 皆さん
元気そうで〜♡ 私も元気
もらえます！九州より
応援しています。

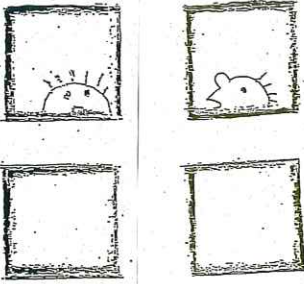
元職員 チョビンと 原田由美さま

いつも応援 ありがとうございます

- ✿ 高橋 和彦さま
- ✿ 大浜 豊園さま (黒紫米の)
- ✿ 神田 幸江さま (みこべ友人)
- ✿ 葛西 智子さま (OBのお母さん)
- ✿ 阿部 浩一さま (Singer)
- ✿ 高津 満恵・伊藤 千紘・大智 さま (OBファミリー)
- ✿ 邪良 伊子 孫一さま (順不同)

- ✿ 吉識 加代子さま (OBのおばあちゃん)
- ✿ 山田 健 さま (のんちゃんのおトコ)

チョコ
ゲンポー?!



42.5#

